

# 多様性・持続可能性と考古学

Diversity, Sustainability, and Archaeology

1

羽生 淳子 HABU Junko

(カリフォルニア大学バークレー校/総合地球環境学研究所)

食の多様性と文化の盛衰

Food Diversity and the Growth and Decline of Human Cultures

2

松本 直子 MATSUMOTO Naoko

(岡山大学)

ジェンダー教育と考古学

Gender Education and Archaeology

3

対話：多様性・持続可能性と考古学

司会：ジョン・アートル、吉田 泰幸 John ERTL and YOSHIDA Yasuyuki

(国際文化資源学研究センター)

考古学者 × 人類学者 × 参加者

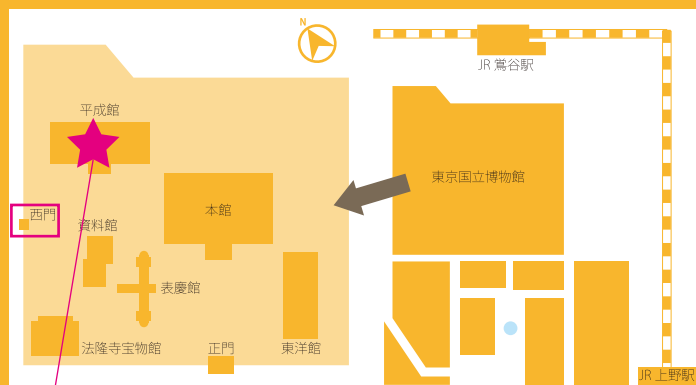
Dialogue: Diversity, Sustainability and Archaeology

Archaeologists × Anthropologists × Participants

2014

10 / 26  
(日)

13:15 ~ 16:45



場所：東京国立博物館 平成館小講堂

東京都台東区上野公園 13-9 <http://www.tnm.jp>

\*参加費無料。西門にて 13:00 頃受付を開始します。

\*東博の展示を観覧される場合は、別途入館料、正門からの再入場が必要です。

環境問題を克服し持続可能な社会を実現するために、生物多様性、食の多様性が唱えられながらも、従来の経済成長モデルからはなかなか脱しきれない。「男は仕事、女は家庭」というジェンダー観は近代になって成立したにすぎないにも関わらず、ジェンダーの多様性は等閑視され、固定的なジェンダー観の再生産は続いている。長期的な文化変化を扱う考古学をツールに、これらの問題に取り組むゲストスピーカーを迎え、多様性・持続可能性のために考古学ができること、そして考古学自体の持続可能性も考えます。

\*使用言語は日本語です。Official Language is Japanese.

\*本セミナーは国際文化資源学研究センター課題ユニット「考古学と現代社会」による企画です。

問い合わせ 吉田 泰幸

Tel: 076-264-5802 E-Mail: [yoshi23@staff.kanazawa-u.ac.jp](mailto:yoshi23@staff.kanazawa-u.ac.jp)